

氷川町 子ども会大会開催

2月13日、竜北体育センターにおいて、第5回氷川町子ども会大会が行われました。

優良子ども会表彰および、事例発表を行った後、レクリエーションでは、8地区64人の子どもたちが参加し、ドッジビー大会を行いました。決勝戦では、新村地区と上有佐地区が対戦し、激戦の末、新村地区が見事優勝しました。

大会後は、ジュニア・リーダーによるサプライズイベントとして、パン食い競争ならぬ、お菓子取り競争が行われ、口でのキャッチに四苦八苦しながら、大変盛り上がりしました。



▲寒さも関係なし、子どもたちは元気いっぱい！！

氷川町 文化講演会 中島誠之助 氏来町

1月23日、氷川町公民館において、氷川町文化講演会（氷川町文化協会・氷川町教育委員会主催）が開催されました。

今年は、テレビ「開運！なんでも鑑定団」にレギュラー鑑定士として出演されている古美術鑑定家 中島誠之助氏を招き、「目利きの人生談義」と題し、自らの体験談や、テレビ出演の裏話などの中で、「感性を高めることが大事、「いいもの」に触れてください」と歯切れのよい江戸っ子トークで話されました。

会場からは終始笑い声が響き、中島氏には特産の晩白柚が贈られました。



▲鑑定団でお馴染みの中島誠之助氏

「災害時における廃棄物の処理等の支援活動に関する協定書」締結

1月20日、氷川町役場庁議室において藤本町長、社団法人熊本県産業廃棄物協会大野会長ほか関係者出席の下、「災害時における廃棄物の処理等の支援活動に関する協定書」に係る締結の調印式が行われました。

これは、平成21年に熊本県と同協会において協定された細目協定を町と締結するものです。

この協定により町が大きな災害を受けた時に処理依頼が可能となります。県下でも熊本市など7市町村が締結済です。

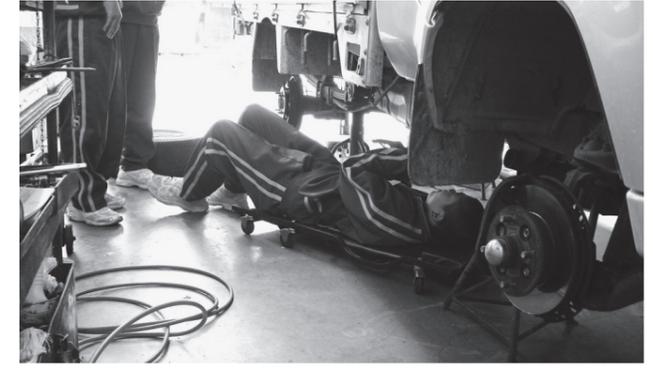
◎目的
災害時に大量に発生した廃棄物を迅速かつ適正に処理するために必要な事項を定め、災害が発生した地区の生活環境保全および速やかな復旧を支援すること。



▲協定書を手にする藤本町長と大野会長(右)

農業体験と職場体験

1年生が農業体験、2年生が職場体験を行って、勤労の大切さを学びました。地域の皆さま、ありがとうございました。



心を静めて

全校一斉に、書き初め大会を行いました。国語担当教諭指導の下、みんな真剣に取り組みました。大切にしたい日本の伝統です。

八代管内の書展に38点出品し、20点が特選でした。
1年生は『世界遺産』、2年生は『理想の実現』、3年生は『未知への挑戦』と書きました。

